

平成29年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

東海ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて10頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者に期待されている仕事の内容に関して、**最も不適当なものはどれか。**

1. 登録基幹技能者は、熟達した作業能力と豊富な知識を持つ者である。
2. 登録基幹技能者は、現場をまとめ、マネジメント能力に優れた者である。
3. 登録基幹技能者は、元請の計画・管理業務に参画し、補佐することが期待されている。
4. 登録基幹技能者は、厚生労働大臣が登録した機関の資格認定を受けた者である。

問題 2 登録左官基幹技能者に必要な資格等の要件等に関して、**最も不適当なものはどれか。**

1. 各職種における登録基幹技能者講習の修了者は、登録基幹技能者として認められる。
2. 職長経験年数は、実務経験のうち3年以上が必要である。
3. 15年以上の実務経験が必要である。
4. 1級技能士や2級施工管理技士（仕上げ）または職業訓練指導員等の資格が必要である。

問題 3 登録基幹技能者の確保・育成の意義に関して、品確法の改正ポイント・目的及び基本理念に追加された事項について、**最も不適当なものはどれか。**

1. 品確法の目的は、現在および将来の公共工事の品質確保を行うことである。
2. 品確法の目的は、民間工事の品質確保の促進を行うことである。
3. 品確法の基本理念は、施工技術の維持向上とそれを有する者の中長期的な確保・育成を行うことである。
4. 品確法の基本理念は、災害対応を含む地域維持の担い手確保への配慮を行うことである。

問題 4 職種ごとに技能者のレベルを4段階に分類したものに関して、**最も不適当なものはどれか。**

1. レベル1 見習い技能者（0～3年）
2. レベル2 中級技能者（4年～10年）
3. レベル3 親方（5年～15年）
4. レベル4 登録基幹技能者（10年～15年以上）

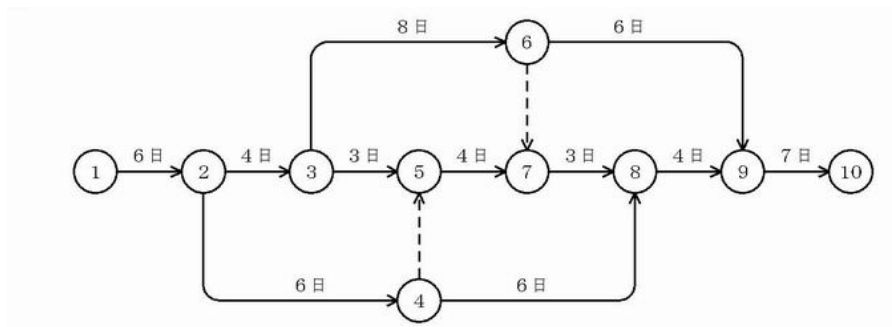
問題5 人として守り行うべき道であり、行為の善悪、正邪の判断において普遍的な基準となる「倫理」に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 足場を組み立てたが適切な転倒防止措置がとられていないので壁つなぎを取付けさせた。
2. セメントモルタルのつけ送り厚さが 50mm 以上あるので、発泡スチロール系の混和材を使用し、厚付けするように指示をした。
3. スラブにコンクリートを打設しようとしているが、自身の経験からして明らかに鉄筋の本数が少ないので施工管理技術者に報告した。
4. 自身の経験からして明らかにセメントモルタルの水量が多いので改善させた。

問題6 指導で部下の能力等を向上させる基本的な手法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 修正する
2. やってみせる
3. やらせてみる
4. やさしく叱る

問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. クリティカルパスは、1→2→4→5→7→8→9→10である。
2. この現場の工期は、32日である。
3. 3→5の作業の最早開始時刻は10日である。
4. 作業④→⑤の点矢線は、ダミーであり作業日数は0である。

問題 8 建設業法における「工事材料の品質および検査」の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 下請負人は、工事現場内に搬入した工事材料を監督員の承諾を受けずに工事現場外に搬出しない。
2. 下請負人は、工事材料については、使用前に監督員の検査に合格したものを使用する。
3. 工事材料につき設計図書にその品質が明示されていないものは、中等の品質を有するものとする。
4. 検査の結果不合格と決定された工事材料については 10 日間当該現場に保管の上、再検査を行った後に工事現場外に搬出する。

問題 9 建設業法における専門工事業の許可のある 29 業種に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 左官工事
2. れんが工事
3. 塗装工事
4. 保温設備工事

問題 10 ブレインストーミング(BS)に関して、最も不適当なものはどれか。

1. BS では、アイデアの質が重要であり、アイデアを量産することは BS の主旨に反する。
2. 誰かのアイデアに対してそこから連想されるもの、その他のアイデアとの結合を意識することで様々なアイデアへと発展させることができる。
3. BS 法とは、アレックス・F・オズボーンによって考案された会議方式のひとつ。集団思考、集団発想法、課題抽出ともいう。
4. BS は、集団でアイデアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法である。


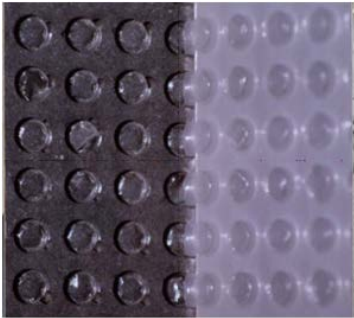
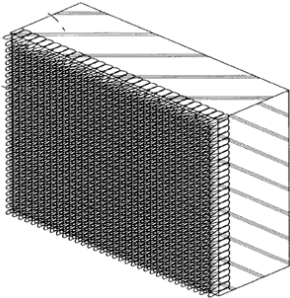
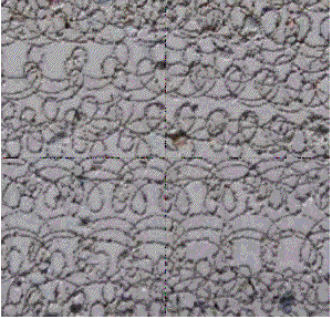
問題 11 左官下地での条件に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 左官の下地は、仕上げ材料と有効な付着強度が得られるものであること。
2. 左官の下地は、仕上げ材料と有害な化学反応を生じないこと。
3. 左官の下地は、仕上げ材料よりも強度・剛性が小さいこと。
4. 左官の下地は、仕上げ材料の施工に適した平面状態、吸水性を有すること。

問題 1 2 単層下地通気構法に関して、最も不適當なものはどれか。

1. ステープルは、M線以上の線径で、脚長を 25mm 以上のものとする。
2. 防水紙は通気層より躯体側の防水紙は、透湿防水シートとする。
3. 質量 $800\text{g}/\text{m}^2$ 以上のリブラス、リブ系ラス、防水紙付きリブ系ラス、または同等以上の性能を有するものとする。
4. 防水紙は鎧張りで、継ぎ目部は幅 90mm 以上重ねる。

問題 13 コンクリート表面の処理後の表面状態と処理方法に関して最も不適当なものはどれか。

1.	カップサンダー掛け	
2.	専用シートによる凹凸処理	
3.	専用シートによる起毛処理	
4.	超高压水洗浄の例（吐出圧 150N/mm ² ）	

問題 1 4 仕上塗材の種類と呼び名の組み合わせで、最も不適当なものはどれか。

	仕上塗材の種類	呼び名
1.	内装せっこう系厚塗り仕上塗材	内装厚塗材G
2.	内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	内装薄塗材E
3.	内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材	内装薄塗材L
4.	内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材	内装薄塗材E

問題 1 5 左官用語の解説に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 防水モルタルの施工は、主として左官工事業者が行う。
2. ドライアウトとは、モルタルが水和反応を完了するために必要な水分が下地に吸収され不足し、完全硬化できない状態になることである。
3. ブリージングとはコンクリートおよびモルタルの練り混ぜ水の一部が分離して上方に移動する現象である。
4. ブリードとは、ひび割れ部にセメントペースト等の結合材を注入すること。

問題 1 6 左官工事に要求される品質管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 仕上面が平坦であること。
2. 仕上面の状態が全壁面に関して一様であること。
3. 設計上要求される耐火、防水、遮音、吸音、断熱、湿温調節などの性能を備えていること。
4. 必要な強度があり、表面硬度が小さいこと。

問題 1 7 ALC パネルおよびセルフレベリング材に関して、最も不適当なものはどれか。

1. セメント系セルフレベリング材は鉄部の防錆効果を有する。
2. ALC パネル下地は、工場でオートクレイブ（高温・高圧養生）した超軽量コンクリートパネルである。
3. せっこう系セルフレベリング材は強度の強い、 β 型せっこうを用い、これに凝結調整材、高流動化剤及び骨材を混合したものである。
4. コンクリートに比べ吸水性が大きく、強度・剛性とも小さく、一般に厚手の左官塗りを行ってはならない。

問題 18 塗り壁の故障の原因、内容、是正措置とそれぞれの組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか

1. 硫化物を含む砂は、変色を発生しやすくするので、取り替える処理が必要である。
2. 富調合による上塗りは、ひび割れや剥離を発生させるので、下塗りは、貧調合にする。
3. エフロレッセンスは、しみ・はく離を発生するので、除去することが必要である。
4. 未乾燥のセメントモルタルにせっこうプラスターを塗り付けると、はく離やひび割れが発生するので、セメントモルタルを十分に乾燥させてから塗り付ける。

問題 19 PDCAサイクルに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 第1段階では、安全の確保は当然のこととして、品質、工程、原価の面で優れた計画を練り上げます。計画段階でチェックのタイミングや品質基準値などの判断基準を適切に設定しておくことが重要になる。
2. 第2段階では、計画に基づき適切に施工するとともに、実際の施工状態を容易に判断できるようなデーターを正確に調査・記録しておくことが重要になる。
3. 第3段階では、計画通りに実施されているか、調査・記録したデーターを検証し判断します。差異がある場合にはその要因を明確にし、必要に応じて対処します。
4. 第4段階では、第3段階における判断結果に基づき、新たに計画を立てる。

問題 20 仮設工事計画に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 仮設は、使用目的・使用期間等に応じてその計画を設計し、作業中の衝撃・振動等を十分考慮に入れた設計荷重で強度計算を行い、また労働安全衛生法に基づいた計画を立てる。
2. 仮設という呼び方につられて、ややもすると手を抜いたりおろそかになったりしやすく、事故の原因となって、かえって多くの費用が必要となる場合もある。
3. 一般に仮設は、本工事とは異なり、大規模で重要なものであっても、発注者から規模・仕様等を指定されることはない。
4. 仮設は、工事の目的とする構造物ではなく、臨時的なものであって工事完成后、原則として取り除かれるものである。

問題 2 1 建設工事費の構成に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事費は工事目的物を作るのに直接要する費用である「直接工事費」のほかに、それを実現させるためにかかる諸々の間接的経費で構成されている。
2. 一般管理費とは、工事施工にあたる受注者の継続運営に必要な費用としての一般管理費（本支店経費）と付加利益を指す。
3. 直接仮設費とは、各工事種目に共通の仮設に要する費用である。
4. 現場管理費は工事施工にあたり工事現場を管理運営するために必要な費用である。

問題 2 2 コンクリートに発生するクラック防止対策に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 基礎部分などの大断面のコンクリート構造物は、コンクリート内部の熱膨張により、低温の表面部が引っ張られ、ひび割れを起こすことがある。
2. コンクリートのひび割れは、急な温度変化に影響されやすいため、シート等で養生を施すと効果がある。
3. 一般的に、壁に取り付ける誘発目地は、柱側からできるだけ離して配置する。
4. 柱、梁などの主要構造物よりも断面が小さい壁には、クラックが発生しやすいため、適度に誘発目地を配置する。

問題 2 3 わが国建設業における労働災害の現状について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業の労働災害による死亡者数は、この半世紀で 84%減と大幅に減少した。
2. 建設業は、他産業と比べて労働災害発生率が低い産業である。
3. 建設業の安全対策が難しい理由のひとつは、作業内容が日々変化するため作業の慣れによる安全効果がしにくいことが挙げられる。
4. 死亡災害を事故の型別で見ると、建設工事全体では墜落による事故が 40%で最も多い。

問題 2 4 各種労働災害防止について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 高さが 2.5m の所で施工する足場組立には、作業床を設置する必要がある。
2. 解体工事では、石綿による健康障害防止対策を考える必要がある。
3. 居ながらリフォーム工事では多くの場合、電気やガスが使えるので安全性が高い。
4. リフォーム工事では、既存建物、植栽、側溝等、足場の支障になるものが多く存在するので事前の現地調査が必要である。

問題 25 法で定められた建設現場における安全管理について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 複数業者が混在する 85 人の建設現場では、安全管理のために特定元方事業者は統括安全衛生責任者を選任する必要がある。
2. 型枠支保工の組立作業は、作業主任者を選任しなければならない作業に含まれる。
3. 安全管理を進めるために、ハインリッヒの法則に従って「ヒヤリ」「ハット」の芽を摘み取ることは有効である。
4. 特定元方事業者は規模の小さい現場であれば、新たに就労する作業員に対して新規入場者教育を省略することができる。